



蝶鉄線蒔絵宝石箱



群蝶蒔絵手箱小



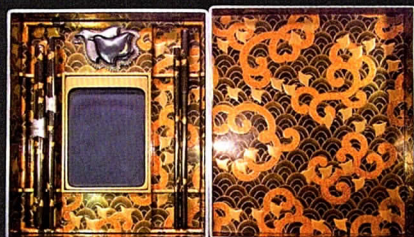
市松菊蒔絵硯箱



南天蒔絵印籠



俵熨斗香合



海辺連松蒔絵硯箱



鶴亀蒔絵小印籠

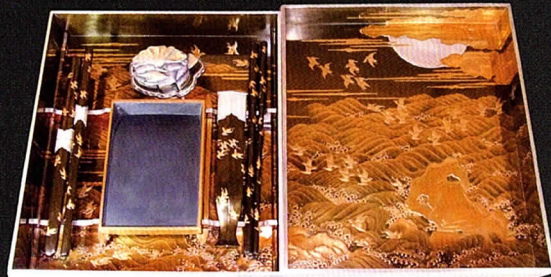


春秋水鳥蒔絵硯箱

蒔絵師 白井松丘の世界

平成三〇年度

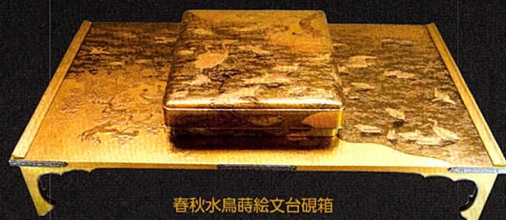
特別展



菊籬蒔絵硯箱



布引滝蒔絵硯箱



春秋水鳥蒔絵文台硯箱



久米仙人蒔絵印籠



柘榴桃蒔絵小印籠



初音蒔絵四段重箱

虹色の海 根付



菊大罌



印籠蒔絵印籠筆筒

平成30年11月3日(土・祝)~12月16日(日)

◎開館時間/10時~17時(入館は16時30分まで)

◎休館日/毎週月曜日

◎観覧料/一般:600円(500円) 大学生・高校生:500円(450円) 小・中学生:300円

※()内は20人以上の団体料金(一般・大学生・高校生のみ)

◎主催/公益財団法人 五字ヶ丘文華財団 圓山記念日本工芸美術館

公益財団法人 五字ヶ丘文華財団
圓山記念日本工芸美術館
Enzan Memorial Museum of Art

〒670-0061 兵庫県姫路市西今宿1-1-8 Tel(079) 292-3433
HP <http://www.ric.hi-ho.ne.jp/emuseum/>

ごあいさつ

このたび、思い懸けませず、公益財団法人五字ヶ丘文華財団・圓山記念日本工芸美術館の主催で、時絵師・白井松丘生涯の仕事を持別展として展覧して頂きますことになりました。

私は、家業である時絵を継ぎ早五十数年、師でもある父義雄と共に一筋の道を歩んで参りました。古美術の修繕に携わる中で、歴代の名工（徳川の御抱時絵師として活躍した幸阿弥、古満、梶川の三家をはじめ、飯塚桃葉、柴田是真、赤塚自得等）の名品に触れることも多く、ただ豪奢なものというだけでなく、洗練された技法の数々に感銘を受けました。

修繕といっても決して容易い作業ではなく、当然そこに描かれている時絵を理解していないと手を加えることすら出来ず、複雑な技巧が施された作品を前にただ時間だけが流れていくということも屢々でありました。

日々あらゆる技法を研究、技術を習得していく中で、自身も後世に残るような作品を生み出したいという思いが強くなった二十九歳の時、最初に手掛けた作品「菊蓮時絵硯箱」を三年がかりで仕上げました。無論、全作品一点一点時間をかけ、力を尽くすのですが、そんな中でも、これは後にも先にも思入れの強いものとなりました。

今回展示されている作品総数は六十六点です。中でも「料紙硯箱」は五十年の集大成で、印籠にいたっては素地から作り上げています。平安時代から現代までの長きにわたり図案となつていのは主に大和絵と呼ばれるものですが、近年では香合や根付において、時絵の伝統を踏襲しつつ、常に新しいデザインを生み出しています。

我が国では様々な伝統産業があり、それを守り続ける多くの職人たちによって今日に受け継がれています。日本独特の漆芸技法である時絵は、精度が要求される緻密な作業と、数多い工程を経て作品が生まれます。それは世界に誇れる至宝であると思っております。然り乍ら、後継者の育成を図るのは大変難しく、悠久の歴史の中で培われてきた技術は次第に衰退の一途をたどるに至っています。

今回、ご縁を頂きました当「圓山記念日本工芸美術館」は、開館以前から、五十年以上もの長年に亘り、館長の一念で、日本の工芸文化、特に漆工芸の技と心の保存、継承の難題に取り組み、あらゆる工夫努力を重ねてこられ、去る程の、世界文化遺産第一号・国宝姫路城の六年間に亘る大修理事業でも、漆部門を担当、その大役を果たされました。このような圓山記念日本工芸美術館で、世界に類を見ません尊い漆文化の継承発展を目指す活動の一端に、私の匠の技も参りさせて頂けましたことを、日増しに有り難く感じております。

ご来館の皆様は時絵師・白井の仕事を通じて、世界的に「Japan」として著名な、尊い時絵の技と心の深い魅力を、少しでもお感じ頂けますれば幸いです。

御高覧の程、よろしくお願い申し上げます。

最後に、このようなライムライトを与えて頂きました、圓山記念日本工芸美術館 井尻益郎館長様に、深い敬意と心からの感謝の意を表します。また、本展開催にあたり、ご尽力賜りました役員の諸先生方、学芸部の皆様に、謹んで御礼申し上げます。

平成三十年十一月吉日

時絵師 白井松丘(義次) 拜

ミュージアム・コンサート

弦楽の楽しみ

●日時/11月18日(日) 14:00~14:40

ヴァイオリン・ピアノ 力武 千幸 氏
ヴィオラ 前田 智子 氏
チェロ 大西 泰徳 氏



漆工庵 二代目 白井松丘(義次) 略歴

1948 京都に生まれる
1965 17歳で、父、義雄に印籠の木地制作、時絵、古美術の修復を習う
1973 独立し、主に硯箱、茶器、印籠を制作する
1980 京都で「親子展」を開催
1990 水戸家より光園愛用黒地四段菱紋時絵印籠の複製を委託される
1994 ドキュメンタリーテレビ番組「極める〜日本の美と心〜」(印籠装彩一究極の江戸工芸-)に出演

◎受賞歴

1975 「全国伝統工芸展」に於いてNHK賞受賞
2002 社団法人日本漆工協会より優秀漆工技術者賞受賞
2004 第12回 明治神宮「日本文化を担う・漆の美展」に於いて伝統工芸産業振興協会会長賞受賞

◎出品歴

1975 「第1回全国伝統工芸展」
1997 横浜高島屋「手のひらの小宇宙・現代根付彫刻展」(以後毎年印籠を出品)
1999 池袋西武「根付彫刻新作展」(以後毎年)

2001 池袋西武「現代根付逸品展」(以後定期的)
2002 明治神宮「日本文化を担う・漆の美展」(5回 2002、2003、2004、2005、2008)
日本橋高島屋「現代根付展」(以後毎回)
2005 スペイン・サラマンカ大学日西センター・美智子さまホール「スペイン・サラマンカ展」(『螺鈿花丸四季時絵印籠』)
2006 スペイン・国立サクレメント僧院美術館「スペイン・トレード展」大阪高島屋「手のひらの小宇宙・現代根付展」
2008 横浜高島屋「悠游会展」(以後毎回)
JR名古屋高島屋「手のひらの小宇宙・第1回現代根付展」
2011 日本橋高島屋「悠游会展」(以後毎回)

◎個展歴

2001 岐阜高島屋(2回 2001、2007)
2002 横浜高島屋(2回 2002、2006)
2004 いわき市小野美術
2018 横浜高島屋「〜日本の美〜白井松丘 時絵展」

■交通の便

◎車…JR姫路駅北口から約10分 ◎タクシー…「琴丘高校下」とご指示ください。
◎バス…JR姫路駅北口 ③・④番乗り場「日赤病院前経由」琴丘高校前 下車

公益財団法人 五字ヶ丘文華財団
圓山記念日本工芸美術館
Enzan Memorial Museum of Art

〒670-0061 兵庫県姫路市西今宿1-1-8 Tel(079)292-3433
HP <http://www.ric.hi-ho.ne.jp/emmuseum/>

